

孫のSOSにつけこむ オレオレ詐欺発生!!



孫等をかたり、キャッシュカード3枚をだまし取る!!

～「カバンをなくした!」「取引中止!」「助けて!」はウソ～

1月17日、Aさん宅に孫をかたる男から電話がかかり、「体調が悪いので、明日、病院へ行って診察してもらおう。病院の帰りに寄る。」等と言われた。

その翌日に、孫やその上司をかたった男からAさん宅に電話がかかり、「診察してもらった喉にポリープがあると言われた。実は、診察を受けているときにカバンを廊下に置き忘れ、そのカバンが盗まれてしまった。カバンの中には会社の重要な書類や預貯金通帳、財布等が入っていた。」「これから金沢で取引先と契約があるが、通帳がないから契約金が準備できない。150万円を用意してほしい。急いでいるからキャッシュカードを貸してくれば出金する。」「キャッシュカードは、上司の息子が取りに行く。」等と言われた。

しばらくして、上司の息子を名乗る男がAさん宅に訪れたことから、Aさんは、同男にキャッシュカード3枚を手渡した。



オレオレ詐欺の電話が多いと聞くけれど、私の両親はしっかりしているし、詐欺にはきっと騙されないよ。

油断してはいけません! 犯人は家族を思う気持ちを利用して、お金を騙し取ろうとします。被害に遭わないように対策をとりましょう! ポイントは以下のとおりです。



1 家族の間で「合言葉」を決めて起きましょう。

犯人は「風邪をひいて声が変わっている」等と言葉巧みにだましてきます。声だけでは、電話の相手が家族かどうか分かりません。あらかじめ家族の間で「合言葉」を決めて起きましょう。

2 電話はいつも「留守番電話」に。また「通話録音装置」が効果的!

犯人は、自分の声が証拠として残るのを避けます。在宅時でも留守番電話にして、必要な電話は後からかけなおしましょう。また、着信時に音声アナウンスが流れ、会話内容を自動録音できる「通話録音装置」が効果的です。自治体によっては無料貸出を行っていますので、お住まいの自治体にお問い合わせください。

3 日ごろから家族で交流し、相談しあえる環境を作りましょう。

少しでも「おかしい」と思ったら迷わず家族に相談できるように、普段から交流をかかさず、家族全員で特殊詐欺の被害に遭わないように気をつけましょう。



お問合せ先
富山県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策係
電話:076(441)2211(代表)

